

# 統計調査ニュース

平成30年（2018）2月

No.375



## 杉亨二氏と長崎の移智契<sup>(※)</sup>(スタチスチック)

(※) 左は杉氏の創作漢字

長崎県県民生活部統計課長 笠山 浩昭

### ◎杉亨二氏は「近代統計の祖」

杉亨二氏は、明治4年に太政官正院に設置された政表課（統計局の前身）の大主記に任ぜられたことから、初代の統計局長といわれています。

同氏は、明治維新後の我が国の近代化において人口調査の必要性を説き、明治12年には国勢調査の試験調査ともいうべき「甲斐国現在人別調」を実施したことなどで知られ、近代統計調査の先駆者、統計教育の先覚者、さらに近代統計の祖といわれています。

### ◎杉氏の生い立ち

杉氏は文政11年（1828年）、長崎市本籠町に生まれ、江戸で勝海舟の私塾長（26歳）、幕府の学問所（後の東京大学）の教授に挙用され（37歳）、統計学に情熱を注がれました。その後、共立統計学校を開校し（56歳）、統計専門家の養成に努めるとともに、統計の普及、国勢調査実現に尽力され、大正6年（1917年）12月4日、90歳で亡くなりました。



### ◎没後 100 周年顕彰献花式

長崎市統計課では毎年、市内の杉氏胸像前で献花式を行っており、昨年12月4日は没後100周年に当たることから、杉氏の玄孫の松宮伊佐子氏、勝海舟の玄孫など関係者多数参加の中、私も献花の輪に入れていただきました。

田上富久長崎市長からは、氏の卓越した先見性と行動力を称える御挨拶とともに、市長が統計課長であったときに総務省統計資料館を訪れた際の感慨深いお話もありました。



### ◎杉氏を偲ぶ講演会

献花式の前日、団体主催で松宮克昌氏（日本翻訳家協会評議員）の講演があり、同氏は杉氏が「スタチスチック」の原語を生かし創作漢字をつくられたことや、氏の東京・染井霊園の墓所に刻まれた

『枯れたれば また 植置けよ 我が庵』という言葉にふれ、「この世から私が去っても次代を担う人たちが自分の家のように愛おしく感じてきた統計事業に新たな息吹を注げばいいのだ、との未来を託すメッセージではないか」と語られ、大変、印象的でした。

### ◎長崎の統計

私は、昨年の晩秋、染井霊園にて静かに手を合わせ、国の統計改革の動きに遅れをとることなく、本県でも、市町を始め、統計ユーザーとも連携しながら、統計利活用を進めることを報告しました。

今年は明治元年から満150年の年であり、日本の統計にとっても節目の年です。総務省を始め、皆様の御指導もいただきながら“地味でも凄い統計課”を目指し、県民の皆様に、ながさきに生まれ暮らして良かったと思っていただけるよう、企画立案の支援につなげてまいりたいと考えております。

## 目次

杉亨二氏と長崎の移智契(スタチスチック)..... 1	平成29年度登録調査員中央研修を開催しました..... 6
平成28年社会生活基本調査	統計研究研修所 オンライン講座について
詳細行動分類による生活時間に関する結果の概要..... 2	「かたり調査」に御注意ください!..... 8
平成28年経済センサス-活動調査 確報集計結果の概要①..... 4	中核市発とうけい通信②..... 9
「統計の日(10月18日)」の標語募集!..... 5	

# 平成28年社会生活基本調査 詳細行動分類による生活時間に関する結果の概要

平成28年10月に実施した社会生活基本調査の詳細行動分類による生活時間に関する結果を平成29年12月22日に公表しましたので、その概要を紹介します。

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査しており、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しています。

平成28年調査は、調査票A及び調査票Bの2種類の調査票を用い、全国の10歳以上の約20万人を対象に、平成28年10月20日現在で実施しました。

今回公表した結果は、約1万人を対象とした調査票Bに基づく詳細行動分類による生活時間の配分に関する結果です。

## 同時行動（主にしていた行動のほかに同時にしていた行動）

同時行動を行った人の割合（行動者率）を同時行動の種類別にみると、「テレビ」の行動者率が42.9%と最も高く、次いでスマートフォンなどの「コンピュータの使用<sup>(注1)</sup>」の行動者率が21.5%などとなっています。平成23年と比べると、「テレビ」は4.6ポイントの低下となっている一方、「コンピュータの使用」は17.6ポイントの大幅な上昇がみられます。（表1）

表1 同時行動の種類別行動者率（平成23年、28年）一週全体

同時行動の種類	平成23年 (%)	平成28年 (%)	増減 (ポイント)
テレビ	47.5	42.9	-4.6
コンピュータの使用 <sup>(注1)</sup>	3.9	21.5	17.6
衣類等の手入れ	11.3	10.0	-1.3
新聞・雑誌	8.3	7.6	-0.7
軽飲食	6.1	6.2	0.1
CD・音声ファイル <sup>(注2)</sup>	3.9	5.4	1.5
ラジオ	6.2	5.2	-1.0

(※) 平成28年の同時行動の行動者率が5%以上の同時行動（小分類）を掲載

(注1) 「コンピュータの使用」には、パソコンのほか、スマートフォン、スマートフォン以外の携帯電話、タブレット型端末などによるインターネットの使用等が含まれる。

(注2) 「CD・音声ファイル」は、平成23年は「CD・カセットテープ」として分類している。

主にしていた行動（主行動）の種類別に同時行動の行動者率をみると、「有償労働」と同時に行っていた行動は平成23年の「ラジオ」に代わり、スマートフォンなどの「コンピュータの使用」の行動者率が最も高くなっています。また、食事の時間における同時行動は、「テレビ」に次いで「コンピュータの使用」の行動者率が高くなっており、特に、昼食時に「コンピュータの使用」をした人の割合が8.0%と平成23年に比べ7.4ポイントの上昇となっています。（表2）

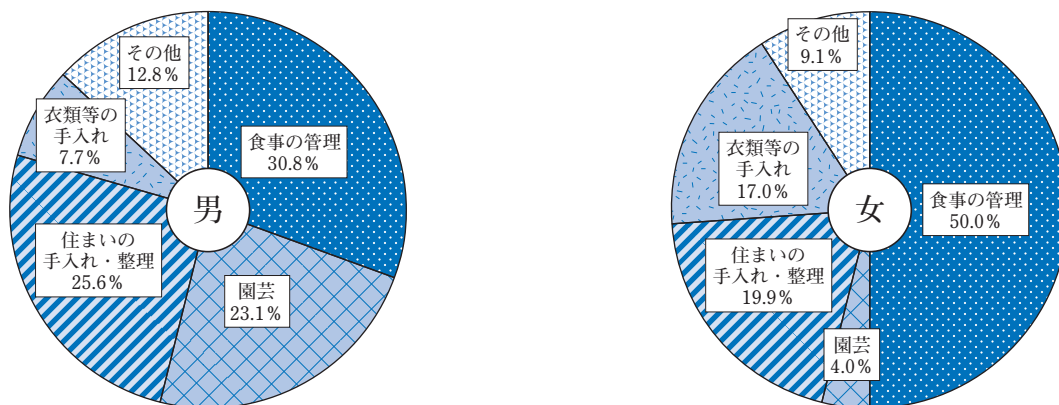
表2 主行動、同時行動の種類別行動者率（平成23年、28年）一週全体

主行動の種類	平成28年 (%)					平成23年 (%)				
	同時行動を伴う行動者率	1位		2位		同時行動を伴う行動者率	1位		コンピュータの使用	行動者率
		同時行動の種類	行動者率	同時行動の種類	行動者率		同時行動の種類	行動者率		
総数	69.6	テレビ	42.9	コンピュータの使用	21.5	65.7	テレビ	47.5	コンピュータの使用	3.9
有償労働	10.5	コンピュータの使用	4.3	CD・音声ファイル	1.5	5.7	ラジオ	1.5	コンピュータの使用	0.4
無償労働	27.3	テレビ	13.8	衣類等の手入れ	5.4	27.8	テレビ	15.9	コンピュータの使用	0.5
個人的ケア	56.0	テレビ	38.6	コンピュータの使用	13.8	51.9	テレビ	42.3	コンピュータの使用	1.1
朝食	27.9	テレビ	19.0	コンピュータの使用	3.1	27.2	テレビ	20.7	コンピュータの使用	0.1
昼食	25.2	テレビ	12.6	コンピュータの使用	8.0	19.9	テレビ	14.5	コンピュータの使用	0.6
夕食	31.5	テレビ	24.6	コンピュータの使用	3.8	30.7	テレビ	26.9	コンピュータの使用	0.2
軽飲食	8.9	テレビ	3.9	コンピュータの使用	2.7	7.9	テレビ	4.7	コンピュータの使用	0.2
自由時間	28.8	テレビ	7.5	軽飲食	4.3	28.9	テレビ	8.5	コンピュータの使用	2.4

### 無償労働（家事、育児など収入を目的としない仕事）

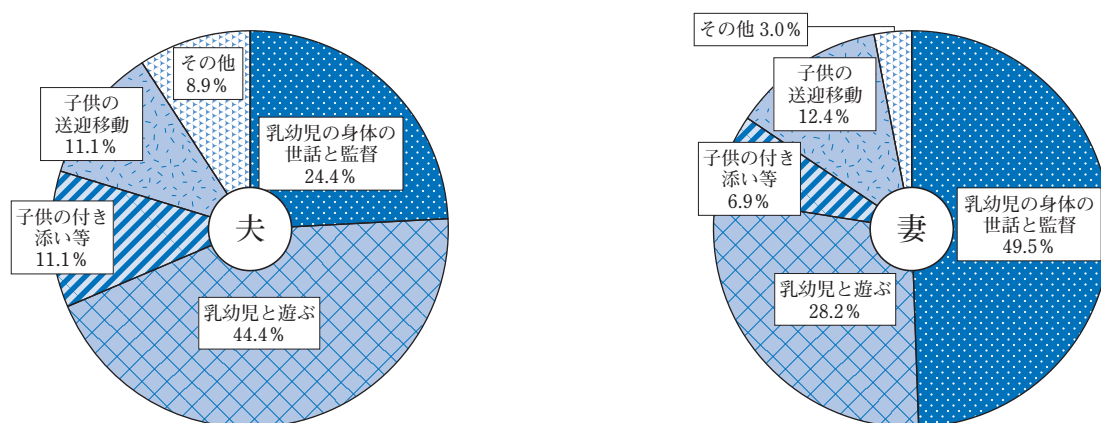
家事時間の内訳を男女別にみると、男性は「食事の管理」が12分と最も長く、次いで「住まいの手入れ・整理」が10分などとなっています。一方、女性は「食事の管理」が1時間28分と最も長く、次いで「住まいの手入れ・整理」が35分などとなっており、「食事の管理」が家事時間の50.0%を占めています。（図1）

図1 男女別家事時間の構成比（平成28年）一週全体



夫婦と子供の世帯のうち、6歳未満の子供を持つ夫・妻の育児時間の内訳をみると、夫は「乳幼児と遊ぶ」が20分と最も長く、育児時間の約4割を占めています。一方、妻は「乳幼児の身体の世話と監督」が1時間40分で最も長く、育児時間の約半分を占めています。（図2）

図2 6歳未満の子供を持つ夫・妻の育児時間の構成比（平成28年）一週全体、夫婦と子供の世帯



◆ 「平成28年社会生活基本調査」の詳しい結果については、次のURLを御参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.htm>

# 平成28年経済センサス - 活動調査 確報集計結果の概要①

平成28年経済センサス-活動調査は、国内の全ての事業所・企業を対象として、全産業分野の売上（収入）金額等の経理事項を同一時点で網羅的に把握する統計調査として平成28年6月1日現在（経理事項については平成27年1年間）で実施しました。この度、「製造業」、「建設業」、「学校教育」及び「通信業、放送業、映像・音声・文字情報制作業」などに関する産業別集計結果を公表しましたので、その概要を紹介します。なお、「卸売業、小売業」及び「医療、福祉」などに関する産業別集計結果は、3月に公表する予定です。

## 1 「製造業」に関する結果

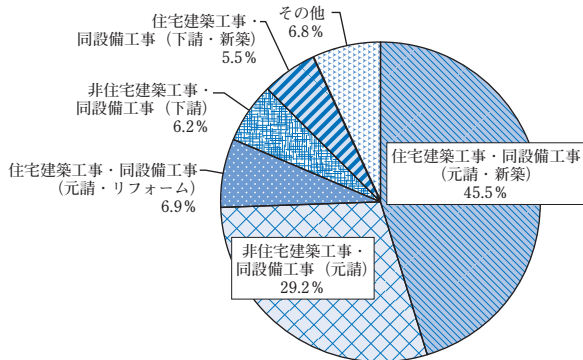
平成27年における事業所の製造品出荷額等は、313兆1286億円（平成23年と比べると9.9%の増加）となっており、このうち品目別の製造品出荷額をみると、輸送用機械器具の「普通乗用車（気筒容量2000mlを超えるもの）（シャシーを含む）」（10兆519億円）、「その他の自動車部品（二輪自動車部品を含む）」（6兆7251億円）、「駆動・伝導・操縦装置部品」（6兆3925億円）、「化学工業製品の「医薬品製剤（医薬部外品製剤を含む）」（6兆9107億円）、「石油製品・石炭製品の「ガソリン」（5兆6368億円）などが上位を占めています。

## 2 「建設業」に関する結果

平成27年における企業等の売上（収入）金額（以下「売上高」という。）は、100兆2879億円（平成23年と比べると32.6%の増加）となっており、このうち完成工事高を産業小分類別にみると、「建築工事業（木造建築工事業を除く）」が20兆5109億円と最も多く、次いで「一般土木建築工事業」が16兆8509億円、「土木工事業（舗装工事業を除く）」が14兆4192億円などとなっています。

完成工事高に占める工事種別完成工事高の割合をみると、最も完成工事高が多い「建築工事業（木造建築工事業を除く）」では、「住宅建築工事・同設備工事（元請・新築）」が45.5%、「非住宅建築工事・同設備工事（元請）」が29.2%、「住宅建築工事・同設備工事（元請・リフォーム）」が6.9%などとなっています。

図1 「建築工事業（木造建築工事業を除く）」における工事種別完成工事高の割合



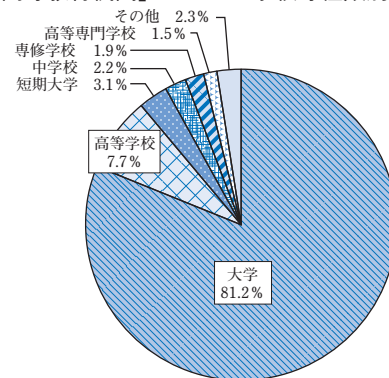
## 3 「教育、学習支援業（学校教育）」に関する結果

平成27年における企業等の売上高は、11兆5532億円（平成23年と比べると13.2%の増加）となっており、このうち学校等種類別収入の合計を産業小分類別にみる

と、「高等教育機関」が6兆946億円と最も多く、次いで「高等学校、中等教育学校」が7163億円、「専修学校、各種学校」が6959億円などとなっています。

学校等種類別収入の合計に占める割合をみると、最も学校等種類別収入の合計が多い「高等教育機関」では、「大学」が81.2%、「高等学校」が7.7%、「短期大学」が3.1%などとなっています。

図2 「高等教育機関」における学校等種類別収入の割合

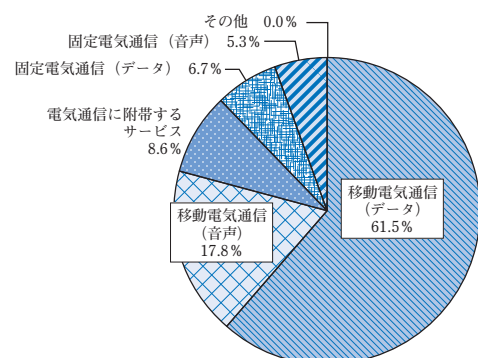


## 4 「情報通信業（通信業、放送業、映像・音声・文字情報制作業）」に関する結果

平成27年における企業等の売上高は、30兆1812億円（平成23年と比べると15.0%の増加）となっており、このうち事業活動別収入の合計を産業小分類別にみると、「移動電気通信業」が10兆6212億円と最も多く、次いで「固定電気通信業」が5兆6976億円、「放送業（有線放送業を除く）」が3兆5062億円などとなっています。

事業活動別収入の割合をみると、最も事業活動別収入の合計が多い「移動電気通信業」では、「移動電気通信（データ）」が61.5%、「移動電気通信（音声）」が17.8%、「電気通信に付帯するサービス」が8.6%などとなっています。

図3 「移動電気通信業」における事業活動別収入の割合





# 「統計の日(10月18日)」の標語募集!

応募期間 平成30年2月1日(木)～3月31日(土)

## 1. 趣旨

総務省では、統計の重要性に対する国民の関心と理解を深め、統計調査に対する国民のより一層の協力を頂けるようにと定めた「統計の日(10月18日)」を中心として周知広報を行っております。その一環として、毎年「統計の日」のポスターを始めとする広報媒体に活用すべく標語を募集しています。

総務省では、この「統計の日」の趣旨を踏まえた標語について、皆様からの御応募をお待ちしております。

なお、入選作品は、「統計の日」のポスターのほか、調査環境を整備するための各種広報に活用することとしております。

## 2. 募集部門

- 小学生の部 …… 小学校の児童
- 中学生の部 …… 中学校の生徒
- 高校生の部 …… 高等学校の生徒
- 一般の部 …… 上記以外の学生及び一般の方
- 統計調査員の部 …… 統計調査員又は登録調査員の方
- 公務員の部 …… 各府省、都道府県、市区町村の職員

## 3. 応募方法

- 専用の応募用紙により、1人5作品まで応募できます。
- 応募用紙以外で応募される場合は、次の記載事項を明記の上、応募してください。
  - ①部門、②お住まいの都道府県名、
  - ③氏名(ふりがな)、④所属・学校名(学年)、
  - ⑤電話番号、⑥標語(1人5作品まで)
 ※一般の部：④は、記入不要です。  
 ※統計調査員の部：④は、「〇〇市統計調査員」と記入してください。
- 応募作品は、自作で未発表のものに限ります。

## 4. 提出方法

- 小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部は、総務省政策統括官(統計基準担当)室まで、メール、FAX又は郵送にて提出してください。
- 統計調査員の部は、所属する都道府県又は市区町村の統計主管課へ提出してください。
- 公務員の部のうち、各府省の職員は、職場の取りまとめ部署へ提出してください。
- 公務員の部のうち、都道府県及び市区町村の職員は、所属する都道府県又は市区町村の統計主管課へ提出してください。

## 5. 提出先

メールの場合 toukeinohi@soumu.go.jp

FAXの場合 03-5273-1189

郵送の場合

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官室  
普及指導担当 宛

## 6. 入選作品の決定・発表

- 入選作品は、部門ごとに佳作1作品程度、そのうち、特に優秀な作品として特選1作品を決定します。
- 入選作品は、平成30年6月(予定)に発表します。
- 入選された場合、御本人(又は応募作品の取りまとめ部署等)に御連絡するとともに、総務省のホームページや広報誌等において、作品、名前、所属・学校名(学年)、都道府県名を発表します。

## 7. 表彰

入選者には、表彰状及び副賞を授与します。

## 8. 著作権

入選作品の著作権は、総務省に帰属します。

## 9. お問い合わせ先

総務省政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官室  
普及指導担当

電話 03-5273-1144(直通)

メール toukeinohi@soumu.go.jp

### (参考)

- 過去の特選作品  
平成29年度「統計が 教えてくれる 地域力」  
平成28年度「統計の 確かな情報 大きな安心」
- 過去の入選作品を御覧になりたい方又は応募用紙をダウンロードされたい方は、ホームページを御覧ください。

[http://www.soumu.go.jp/toukei\\_toukatsu/info/guide/30toukei\\_hyougo.html](http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/info/guide/30toukei_hyougo.html)



【平成29年度「統計の日」ポスター】  
※平成29年度の特選作品が活用されています。

# 平成29年度登録調査員中央研修を開催しました

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、統計調査員に選任されることを希望する者をあらかじめ登録（以下「登録調査員」という。）し、統計調査員の円滑な人材確保に資するとともに、研修等により、その資質の向上を図る人材育成を目的とした「統計調査員確保対策事業」を実施しています。

「登録調査員中央研修」は、この統計調査員確保対策事業の一環として実施しているもので、各地域において中核的・指導的な役割を担う登録調査員の資質の向上及び地域の枠を越えた相互交流を目的としています。

今回は、平成29年12月5日（月）・6日（火）の2日間にわたって、全国から登録調査員69名、都道府県及び市町の職員18名、計87名の参加を得て、総務省第2庁舎において開催しました。

今回の研修は、調査困難世帯、事業所など調査客体に対しての対応方法などの知識を身に付けることを主な目的として開催しました。

また、参加された登録調査員の方は、各地域において統計調査員としての豊富な経験を有しておりますので、地域の枠を越えた経験談・知見の相互共有を図り、調査活動における様々な問題に関し活発な討議を行いました。

## 12月5日（第1日目）

### 1 挨拶

研修の開催に当たり、三宅政策統括官から国の各種統計調査実施の最前線を担ってこられた参加者に対し、調査票1枚、1枚が貴重なデータとなり、政策判断の基になっていることなど、これまでの御尽力に対する感謝の思いを伝えました。

### 2 講義「信頼される統計とは」

続いて、統計研究研修所の河野教授に講義をしていただきました。「統計」の文字の意味などの基礎的な事項から、インターネット調査や証拠に基づく政策立案（EBPM）といった現在の推進している事業についても御説明いただいた後、統計調査を支える統計調査員の役割が変化している状況等について、講義をしていただきました。

参加者からは「統計の重要性を再確認した」や「統計の利活用について興味を持った」といった感想だけでなく、「調査活動の参考になった」や「今後の活動に役立たい」といった感想もいただきました。



講義の様子

### 3 班別討議、統計センター見学

班別討議は、「調査活動における成功した事例、失敗した事例、困った事例」をテーマに、都道府県を越えた相互交流を図るため、10班に分かれて行いました。

参加者からは、「地域によって調査環境が大きく異なるようであるが、調査員の悩みは同じ」との感想を多くいただきました。



班別討議の様子

また、班別討議の合間に調査票保管室の見学を行いました。参加者からは、セキュリティーや保管状況に「驚いた」や「安心した」といった感想だけでなく、「(OCR入力などの)入力集計作業についても見学したかった」という要望も多数いただきました。



見学の様子

#### 4 班別討議結果発表

続いて、班別討議の結果について発表していただきました。調査が困難な世帯の方への対応や調査で困った事例等が発表されました。また、発表いただいた内容や雰囲気などから、班別討議で十分に交流を図ることができたと推察できました。



発表の様子

#### 12月6日(第2日目)

##### 1 講義「苦情対応の実践とストレスマネジメント」

講義をしていただいた柴田先生は、心理学の専門家であり、統計調査員が調査世帯などに訪問した際、苦情を受けたときの対応方法について、心理学的アプローチの観点から講義いただきました。

講義の内容としては、日本の昔話などを盛り込みながら、前半は「①苦情対応の実践テクニック」において、苦情対応の心理的なメカニズムや対応例、後半は「②言いがかり・難癖対応」を親しみやすく説明していただきました。研修では、実際に使える便利な言葉の紹介や、企業や役所にあった苦情対応の実例紹介を盛り込んだ講義となりました。最後に、参加した登録調査員自身のストレスケアを目的とした「③ストレスマネジメント」で、ストレスチェックを行い、ストレスタイプに応じた対処方法を学びました。

講義終了後には、いくつか御質問をいただき、苦情対応について、関心が高いことを再確認いたしました。

また、参加者からは、(市町村や都道府県の)担当者や他の調査員に「研修内容を教えたい」、「同じ研修を受けてもらいたい」といった意見を多くいただきました。



講義の様子

今回の研修が参加者にとって、今後の統計調査員活動や、統計調査員支援・指導のための一助となれば幸いです。また、今回いただいたアンケートなどを元に来年度もよりよい研修を開催いたしますので、機会がございましたら、是非御参加ください。



# 統計研究研修所 オンライン講座について

統計研究研修所は、平成29年度にオンライン講座「初めて学ぶ統計—公務員のためのオンライン講座—」及び「統計データのできるまで—統計的推測の基礎—」を開講し、多くの方に受講していただきました。

これらの講座は、統計リテラシー（公的統計等のデータを読み解く能力）の普及・向上を図り、行政運営に必要な統計的思考力やデータ分析力の高い人材の育成を図ることを目的としています。

引き続き、平成30年度も両講座を開講する予定です。各機関の研修担当窓口にて「オンライン講座の募集要項」を5月頃送付する予定です。御応募をお待ちしています。

## 平成29年度 オンライン講座実施状況

平成29年度のオンライン講座受講者数は、延べ1,543人となり、コース別にみると「初めて学ぶ統計」が843人、「統計データのできるまで」が700人となっています。

平成29年度 講座別、開講月別受講者数

開講月	受講者数	受講者数	
		初めて学ぶ統計	統計データのできるまで
7月	913	554	359
9月	355	161	194
11月	275	128	147
計	1,543	843	700

受講者へのアンケートの講座別満足度をみると、「初めて学ぶ統計」では「大変満足」と「やや満足」を合わせて72.9%が満足と回答しています。また、「統計データのできるまで」では、「大変満足」と「やや満足」を合わせて55.7%が満足と回答しています。

平成29年度 講座別、満足度別受講者数の割合

満足度	初めて学ぶ統計	統計データのできるまで
大変満足	22.7%	13.6%
やや満足	50.2%	42.1%
普通	23.0%	33.1%
やや不満	3.2%	10.0%
不満	0.9%	1.2%

## 平成29年度新規開講

「統計データのできるまで—統計的推測の基礎—」  
受講者の声（講義内容に関するもの）

- 基礎をやや進めた内容であり、勉強になった。
- 基礎から応用まで、順を追って講義が行われ、数式の具体例が分かりやすかった。
- 専門性の高い統計学から、身近な行政実務まで幅広くカバーされていた。
- 統計に係る様々な計算方法や用語など、発展的な知識が得られた点良かった。
- 難しかったが、本気で統計を学びたい人には、研修所に行かなくても本格的な講義が受けられるのでありがたい。
- 統計の理論の活用例などを盛り込んでいたため、理解しやすかった。
- エクセルのシミュレーション方法や、例題が身近で現実的な内容を取り上げられており、自然に興味を持った。

なお、詳細については総務省統計研究研修所ホームページを御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/training/1kenshu/online.htm>

# 「かたり調査」に御注意ください！

最近、「かたり調査」が発生しているとの報告が多く寄せられています。

「かたり調査」とは、国勢調査等、行政機関が行う統計調査であるかのような紛らわしい表示や説明をして、世帯等から個人情報等をだまし取る行為のことです。

「かたり調査」は、統計調査の実施を妨げるだけでなく、詐欺やその他の犯罪にもつながりかねないので、御注意ください。

## ●「かたり調査」を判断するポイント

◎国や地方公共団体の職員、統計調査員、国等から業務を受託した民間の調査機関等が、電話やメールで、世帯や個人に対し統計調査の依頼をしたり、世帯等の情報について回答を求めたりすることはありません<sup>(※)</sup>。

◎統計調査員は、必ず調査員証を身に付けています。

調査員証を持っていない者が訪問した場合、かたり調査の疑いがあります。

(※)ただし、以下の場合、国や地方公共団体の職員（総務省統計局、独立行政法人統計センター、都道府県、市区町村）、統計調査員又は国等から業務を委託した民間の調査機関からお電話をすることがあります。

- 調査票を提出していただいた後、記入内容に不明な点があるため、確認をする場合
- 既に郵送や統計調査員の訪問により調査のお知らせ・お願いをしているが、期限までに調査票の提出が確認できないため、提出を再度お願いする場合（この場合でも、個人や世帯の情報を電話で聞き取ることはありません。）

## ●「かたり調査」の主な例

### <特定の調査名を挙げる例>

「国勢調査を行っている」との電話が一般の世帯に対してあり、取引先の銀行や1,000万円以上の預金があるかどうかを聞かれた。  
\*国勢調査には預金、収入等に関する調査事項はありません。

### <統計調査の関係者を装う例>

「総務省統計局の〇〇」と名乗る男性から一般の世帯に対して電話があり、「消費統計に関する調査を行っている」と説明した上で、ひとり暮らしかどうか（家族構成）、年齢、介護保険に関する状況などについて聞かれた。家族構成や介護保険について答えたところで、男性から一方的に電話を切られた。

### <統計調査員になりすまし、調査関係書類を詐取する例>

統計調査員になりすました者が調査対象世帯を訪問し、調査関係書類である家計簿の提出を要求。いつも訪問する調査員と異なる旨を尋ねると、代理で回収していると答えたため、提出してしまった（その後、正規の統計調査員が当該世帯を訪問し、「かたり調査」であることが発覚）。

「かたり調査」については、皆さまの個人情報の保護や公的統計制度に対する信頼確保のため、統計法で禁止されており、違反した者に対して罰則が定められています。

★不審に思われた場合には、お住まいの都道府県の統計主管課までお問い合わせください。



## 中核市発とうけい通信④

## ～呉(くれ)ば、分かる。 歴史と自然のあふれるまち 呉市～

## 呉市企画部情報統計課

## 1. 概要

呉市は、広島県の南西部に位置する人口約22万8千人、総面積352.80km<sup>2</sup>の山と海に囲まれた温暖な都市です。明治35年10月1日に全国で55番目に市制を施行し、平成15年から平成17年にかけて周辺8町と合併を行い現在の市域が形成され、平成28年4月1日に中核市へ移行しました。

本市は、旧海軍との関わりが深く、戦前は海軍鎮守府や海軍工廠などの重要拠点が設置された軍港都市として発展しました。最盛期の昭和18年には40万人を超える人口を有し、全国10大都市の一つに数えられていました。

戦後は、海上自衛隊や米軍の基地が置かれ、引き続き防衛の重要拠点としての性格を保ちつつも、鉄鋼業や造船業等を中心とした工業都市として発展してきました。

近年は、これらの歴史と豊かな自然を生かした魅力あふれるまちづくりに取り組んでおり、広島県南西部の中心都市として更なる発展を目指しています。

## 2. 日本遺産の認定

平成28年4月25日に、旧軍港4市(横須賀市・呉市・佐世保市・舞鶴市)で共同申請した「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」が日本遺産として認定されました。今後は、日本近代化の歴史を物語る市内各地の文化財の活用や環境整備などに4市が連携して取り組み、国内外に向けて積極的に情報発信を行っていきます。



海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎(旧呉鎮守府庁舎)

## 3. 特産品

瀬戸内海に面した呉市では、市内各地で様々な海産物の生産が行われていますが、その中でも代表的なものが牡蠣の養殖です。海面漁業生産統計調査によると、平成



牡蠣の水揚げ作業

26年の殻付き牡蠣の水揚げ量は29,452tと県内で最も多く、『広島かき』のブランドで知られる広島県産牡蠣の約4分の1を生産しています。牡蠣の出荷は10月から5月までですが、旬の時期である1月から2月の最盛期には、市内の沿岸部を中心に、牡蠣加工場で牡蠣の殻打ちをする音が聞かれます。

また、タチウオの水揚げやちりめんじゃこ(カタクチイワシの稚魚を茹でた後に天日干ししたもの)の生産なども盛んに行われています。

その他にも、柑橘類の栽培が盛んで、本市の豊町で生産されるみかんは濃厚な甘みとさわやかな酸味が特長で『大長みかん』のブランドで全国に知られています。

## 4. 公式キャラクター誕生 その名も「呉氏(くれし)」

昨年デビューした「呉氏」は、見てお分かりのとおり、顔がそのまま市名になっています。「呉氏」は本市のシティプロモーションの一翼を担うために生まれたキャラクターで、テレビやイベントなど各方面においてPR活動を展開しています。特技は、この角張った体型からは想像できないほど動きが軽やかなダンスで、その様子は無料動画サイト『YouTube』において2月1日に公開された呉市PR動画第2弾「呉IN-呉IN」(クレーン-クレーン)において見ることができます。

様々な方面で活躍中の「呉氏」。今後も更なる活躍が期待されます。



呉氏

# 最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計（二人以上の世帯）		物価		
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数			
		千人 (Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	H27=100	東京都区部 H27=100		
実数	H29. 8	126,755	6573	2.8	273,886	103.5	31.0	280,320	401,134	100.3	100.1		
	9	P 12667	6596	2.8	267,248	102.5	P 32.3	268,802	358,526	100.5	100.1		
	10	P 12672	6581	2.8	267,433	103.0	P 30.8	282,872	415,634	100.6	100.2		
	11	P 12672	6552	2.7	277,885	103.5	P 30.9	277,361	361,293	100.9	100.6		
	12	P 12670	6542	2.8	P 551,222	P 106.3	...	322,157	783,054	101.2	100.9		
	H30. 1	P 12659	...	...	...	...	...	...	...	...	P 100.8		
前年同月比	H29. 8	-	1.3	*	0.0	0.7	*	2.0	1.9	0.6	1.6	0.7	0.5
	9	-	1.1	*	0.0	0.9	*	-1.0	P 1.6	-0.3	2.3	0.7	0.5
	10	-	0.9	*	0.0	0.2	*	0.5	P 1.3	0.0	2.4	0.2	-0.1
	11	-	1.2	*	-0.1	0.9	*	0.5	P 2.0	1.7	2.0	0.6	0.3
	12	-	0.8	*	0.1	P 0.7	*P 2.7	-	-0.1	0.4	1.0	1.0	1.0

(注) P：速報値 \*：対前月  
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値  
サービス産業の月間売上高の前年同月比は、前年の調整値を用いて計算した値

## 掲示板 統計関係の主要日程（2018年2月～3月）

### 《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
2月6日	統計研修 統計専門課程「マイクロデータ分析 (Rによる統計解析)」開講（～9日）	3月28日	第120回統計委員会
9日	都道府県等統計主管課（部）長会議		
14日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門（2月）」開講（～16日）		
20日	統計研修 特別コース「ビッグデータ入門」開講		
〃	第119回統計委員会		
22日	統計研修 統計基本課程「GISによる統計活用」開講（～23日）		
27日	統計研修 特別コース「実務に役立つ統計技術一欠測値補完等」開講		

### 《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
2月2日	小売物価統計調査（ガソリン）平成30年1月分公表	3月9日	家計調査（家計収支編：平成30年（2018年）1月分）公表
6日	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年12月分、平成29年10～12月期平均、平成29年平均 ICT関連項目：平成29年10～12月期平均及び平成29年平均）公表	〃	家計消費状況調査（支出関連項目：平成30年1月分）公表
13日	個人企業経済調査（動向編）平成29年10～12月期結果（速報）公表	〃	小売物価統計調査（ガソリン）平成30年2月分公表
16日	労働力調査（詳細集計）平成29年（2017年）10～12月期平均（速報）及び平成29年（2017年）平均（速報）公表	20日	人口推計（平成29年10月1日現在確定値及び平成30年3月1日現在概算値）公表
〃	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）10～12月期平均及び平成29年（2017年）平均）公表	23日	消費者物価指数（全国：平成30年（2018年）2月分）公表
〃	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）12月分、平成29年（2017年）10～12月期及び平成29年（2017年）平均）公表	〃	小売物価統計調査（全国：平成30年（2018年）2月分）公表
〃	社会生活統計指標－都道府県の指標－ 2018 刊行	26日	住民基本台帳人口移動報告（平成30年（2018年）2月分）公表
〃	統計でみる都道府県のすがた 2018 刊行	30日	労働力調査（基本集計）平成30年（2018年）2月分（速報）公表
20日	人口推計（平成29年9月1日現在確定値及び平成30年2月1日現在概算値）公表	〃	消費者物価指数（東京都区部：平成30年（2018年）3月分（中旬速報値）及び平成29年度（2017年度）平均（速報値））公表
22日	個人企業経済調査（動向編）平成29年10～12月期結果（確報）公表	〃	小売物価統計調査（東京都区部：平成30年（2018年）3月分）公表
23日	消費者物価指数（全国：平成30年（2018年）1月分）公表	〃	サービス産業動向調査（平成30年1月分速報）公表
〃	小売物価統計調査（全国：平成30年（2018年）1月分）公表	〃	サービス産業動向調査（平成29年10月分確報）公表
26日	住民基本台帳人口移動報告（平成30年（2018年）1月分）公表	月内	平成27年国勢調査に関する地域メッシュ統計（その2）人口移動集計及び就業状態等基本集計に関する編成及び（その3）従業地・通学地集計及び世帯構造等基本集計に関する編成公表
28日	サービス産業動向調査（平成29年12月分速報、平成29年10～12月期速報）公表	〃	平成28年経済センサス－活動調査「卸売業、小売業」、「サービス関連産業B」、 「医療、福祉」に関する結果の公表
〃	サービス産業動向調査（平成29年9月分確報、平成29年7～9月期確報）公表		
3月2日	労働力調査（基本集計）平成30年（2018年）1月分（速報）公表		
〃	消費者物価指数（東京都区部：平成30年（2018年）2月分（中旬速報値））公表		
〃	小売物価統計調査（東京都区部：平成30年（2018年）2月分）公表		

**編集発行**  **総務省統計局**  
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計利用推進課 情報提供第一係  
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail y-teikyou@soumu.go.jp  
 ホームページ http://www.stat.go.jp  
 御意見・御感想をお待ちしております。